

情報公開文書

研究課題名	中心静脈カテーテル関連血流感染率低減に向けたケアバンドル導入前後でのスタッフの行動変化 (実践報告)
研究機関名	武蔵野赤十字病院
研究責任者	所属：看護部・感染管理室 氏名：廣島 葉子
分担研究者	大塚与恵、上野百合子
研究期間	承認日～2023年12月
研究の意義	中心静脈カテーテルは、太い血管に管を留置し薬剤や高カロリーの輸液を投与するものです。急性期の医療には欠かせない器具ですが、細菌による感染症を起こす可能性のある侵襲的な器具であるともいえます。細菌による血流感染は、命に係わる病態であり、1例でも感染症を減少させる必要があります。感染症の予防には、国際的なガイドラインに基づく効果的な対策が示されていますが、当院において、中心静脈カテーテルの挿入時の感染対策の実施状況を評価したことは、これまでありません。実施状況の評価と、不足している対策を確認します。
研究の方法	単施設での実践報告となります。 2022年4月～2023年12月における武蔵野赤十字病院に勤務する看護師を対象に、中心静脈カテーテルの挿入時の対策についてアンケートを行い、その結果を使用します。また、カテーテル挿入時に実際に実施された感染対策の実施状況を調べさせていただきます。
① 試料・情報の利用目的および利用方法（匿名加工する場合や他機関へ提供される場合はその方法を含む） ② 利用し、又は提供する試料・情報の項目 ③ 利用する物の範囲 ④ 試料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称	①アンケートは匿名にて行います。 ②カテーテル挿入者の患者情報は、匿名化し管理します。他施設への情報提供は致しません。 ③患者背景に関する情報としては、年齢・性別・診療科名・入院病棟名・挿入器具名・起因为菌名であり、限定的な個人情報だけを扱うのみです。 ④臨床情報の利用は、研究責任者、分担研究者の計3名となっています ⑤情報の管理は、研究責任者の廣島（下記参照）が行います
問い合わせ先	当研究に自身の試料・情報利用を停止する場合等のお問い合わせは下記の通りです。公開文書提示後一ヶ月間有効です。 〒180-8610 東京都武蔵野市境南町 1-26-1 武蔵野赤十字病院 所属 看護部・感染管理室 氏名 廣島 葉子 TEL：0422-32-3111（代表）6812（事務局内線） FAX：0422-32-3525